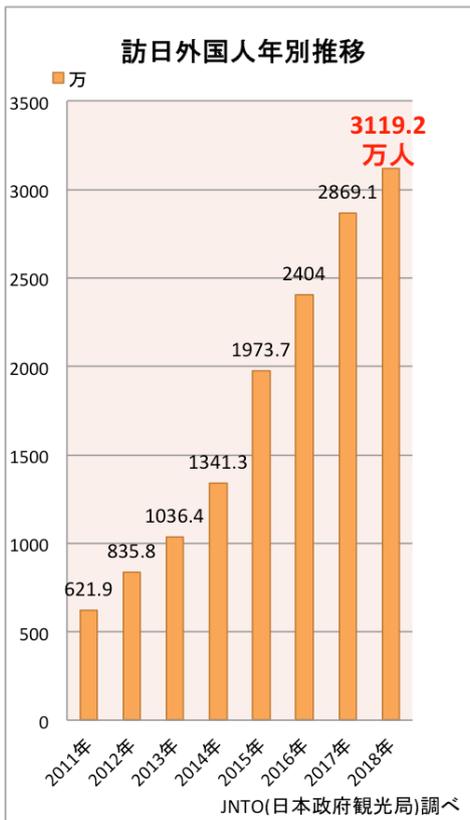


# インバウンド対策と翻訳ツール

## 訪日外国人の現在と課題



訪日外国人旅行者の受入環境整備に関するアンケート  
「旅行中に困ったこと」

困ったこと	割合
無料公衆無線LAN環境	18.7%
SIMカードの購入	4.8%
モバイルWi-Fiルーターのレンタル	2.9%
国際ローミング	5.0%
クレジット/デビットカードの利用	10.0%
ATMの利用	5.1%
両替	6.5%
その他決済手段(モバイルペイメント等)	5.5%
多言語表示の少なさ・わかりにくさ(観光案内板・地図等)	16.4%
施設等のスタッフとのコミュニケーションがとれない	20.6%
入国手続き	3.4%
公共交通の利用	16.6%
鉄道の割引きっぷ	7.2%
災害、けが・病気の際の医療機関、海外旅行保険	1.9%
観光案内所の利用や観光地での案内	1.7%
宿泊施設や空港などへの荷物の配送サービス	2.3%
飲食店、宿泊施設の情報の入手・予約	3.6%
観光地におけるツアー、旅行商品(情報入手、種類等)	1.6%
トイレの利用・場所・設備	3.4%
多様な文化宗教への配慮(礼拝室、食事等)	2.0%
その他	1.9%
困ったことはなかった	36.6%

平成30年度 n=4,037

言語に関する問題は訪日外国人観光客にとって最も困ったこととして挙げられています。

## 未来の訪日外国人客数

### 新たな目標への挑戦！

訪日外国人旅行者数	2020年: <u>4,000万人</u> (2015年の約2倍)※	2030年: <u>6,000万人</u> (2015年の約3倍)※
訪日外国人旅行消費額	2020年: <u>8兆円</u> (2015年の2倍超)※	2030年: <u>15兆円</u> (2015年の4倍超)※
地方部での外国人延べ宿泊者数	2020年: <u>7,000万人泊</u> (2015年の3倍弱)※	2030年: <u>1億3,000万人泊</u> (2015年の5倍超)※
外国人リピーター数	2020年: <u>2,400万人</u> (2015年の約2倍)※	2030年: <u>3,600万人</u> (2015年の約3倍)※
日本人国内旅行消費額	2020年: <u>21兆円</u> (最近5年間の平均から約5%増)※	2030年: <u>22兆円</u> (最近5年間の平均から約10%増)※

※ ( )内は観光ビジョン策定時である2015年時点との比較

観光庁資料(次世代ヘルスケア産業協議会第10回新事業創出WG)  
平成30年12月12日

国の目標から、訪日外国人数は今後さらなる増加が見込まれ  
インバウンドビジネスに励む方々をはじめとする、日本全国各地で  
「言語の壁」の問題には急速に取り組む必要があります。